

「はあ…すっげ…♡
これ…腰止まらねえ…な…♡」

「い…ぎっ…
んっんぎッん!!」

「ふ…っ
友希那ちゃんの為にも
頑張って締めろよ(笑)」

「ぐっ…んッぎ…!」

「つか…
久々の初モノ…だから
昂って…ち●ぽ…や…ばい…♡」

「いっ…
あっぐ…んっんん!!」

「はあ…はあ…
もう…俺限界…か…も…
膣内イクぜ…リサちゃん…♡」

「っ!」



「な…かつて…
ま…まさか…」

「ふ…っ!!」

「リサま●こ種付け!!
俺のガキ産ませてやるッ!!」

「ひッ!!」

「い…嫌…やめ…んぐっん!!」

「ぐっ…おお…?」

「締めまり良くなってきたじゃねえか?
初めてが種付けレ●プで感じてるのかよ」

「はくさては普段から
種付けレ●プされる妄想で
オナってるな?(笑)」

「ん…んっぐ…ひっんぐッ!!
(や…やあ…どうい…で…
レ●プで…)」

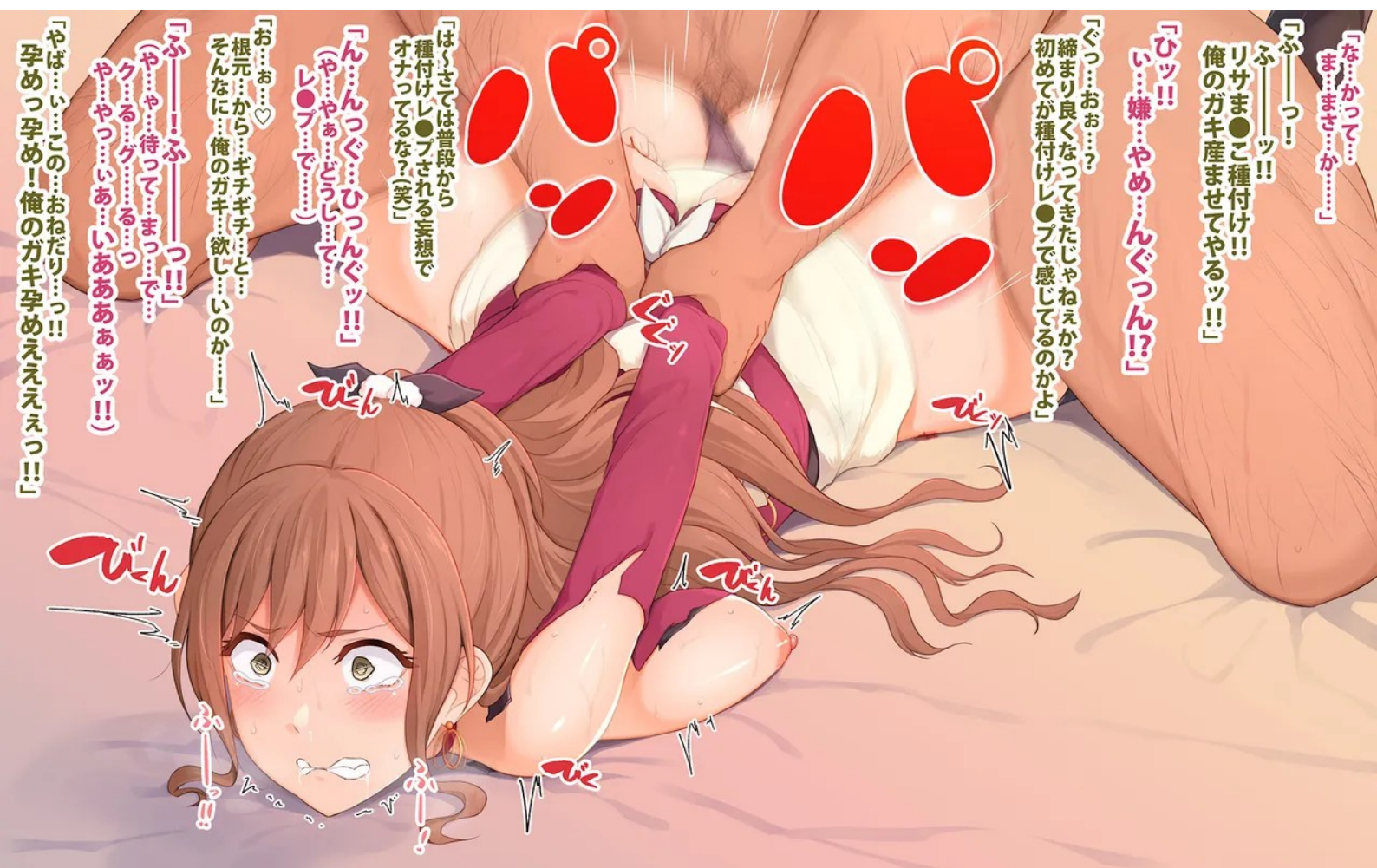
「お…お…♡
根元…から…ギチギチ…と…
そんなに…俺のガキ…欲し…いのか…!」

「ふ…!!ふ…っ!!」

「や…や…待…て…ま…っ…で…
ク…る…ケ…る…っ…
や…や…っ…い…あ…い…あ…あ…あッ!!」

「やば…い…この…おねだり…っ!!」

「孕めっ孕め!俺のガキ孕めえええっ!!」



「んん ツ!!」

「リサ孕め…孕め…
初モノま●こ…孕め…
俺のがキ…孕め…孕みやが…れ…っ」

「んっん…ぐ…っん…ん」

「ふい…リサちゃんが
種付けレ●フで感じるとか
友希那ちゃんが知ったら悲しむだろうな」

「ん…っ
ふ…ふ…」

「ドッ
びゅん
びゅん
びゅん」

「まあ友希那ちゃんも
今ごろ種付けで
イキまくってたりして(笑)」

「っ!?!
なっ…そんな約束と…ひあ!!」

「へへっ
自分の心配した方がいいんじゃないか?
こっから本気でアへらしにイクからな」

「いっ…んぐ…んっ!?!
い…いあ…やああアああッ!!」







